

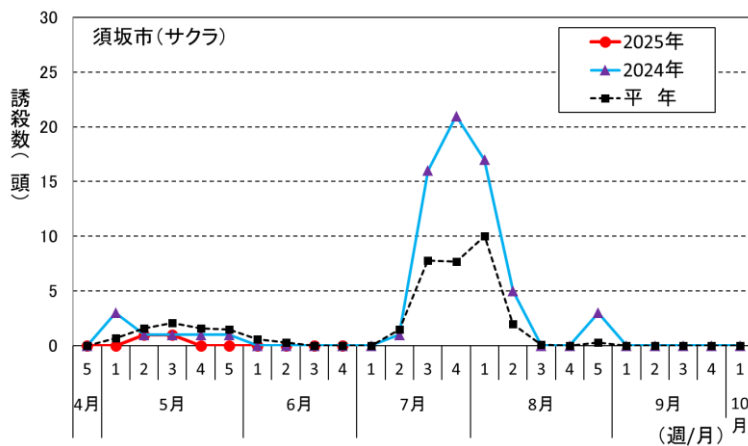
アメリカシロヒトリのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年2回発生する。越冬世代成虫は5月中旬～6月上旬、第1世代成虫は8月上～中旬に発生する。成虫の寿命は5～10日ほどである。
- ・リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、アンズ、クルミ、サクラ等の街路樹に寄生する。
- ・成虫は体長約15mm、純白の蛾であるが、越冬世代の雄には翅に褐色または黒色の斑点が散在する。
- ・若齢幼虫期は群生しているので、被害が著しい場合にはその部分を枝ごと切り取って焼却処分することが有効である。
- ・薬剤による防除効果は高いので、幼虫が分散した後は殺虫剤により防除する。

○須坂市



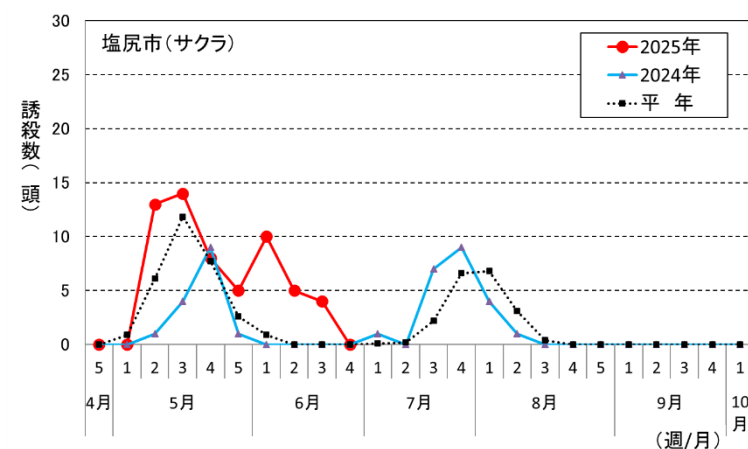
【調査地点】

- ・須坂市小河原（標高約350m）
- ・平年は2015～2024年の平均値
- ・調査開始 4月1日

【コメント】

・フェロモントラップ調査では、5月第2週の初誘殺以降、誘殺頭数は平年より低い状況で推移し、5月下旬以降の誘殺がない状態が6月末まで続いている。

○塩尻市



【調査地点】

- ・塩尻市宗賀（標高約750m）
- ・平年は2015～2024年の平均値
- ・調査開始 4月1日

【コメント】

・平年では5月中旬に一度誘殺のピークを迎えたあと減少し、7年半ばころまでほとんど誘殺されない状況が1か月ほど続くが、本年は6月も第4週を除き、5頭前後の誘殺が継続して観測されていた。